

発行所 全日本建設交運一般労働組合
栃木県本部 〒327-0315
栃木県佐野市吉水駅前1-2-1
0283-62-7312 fax 0283-62-7318
http://www.dumptcg.org/
E-mail:kenkourou@dumptcg.org

CTGの建交労とちぎ

確定申告相談会に392人参加 組合員拡大目標630人達成

消費税引き上げは死活問題

組合では今年も二月一日から確定申告相談会を開催、392人が参加しました。

また、春の組合員拡大月間の目標数六三〇人を達成することができました。

ご協力ありがとうございました。

総収入は増加傾向にあります。しかし、軽油価格の高止まりにより実所得は上がっていません。かつて総収入に占める燃料経費は三割が採算ラインと言われていました。ところが昨年実績で見ると、多くの組合員が四割、五割超になっており、

所得二百万で消費税三〇万

相談会では40人以上が消費税申告も行い多くの人は所得が二百から三百万台であるにもかかわらず、実にその一割以上の消費税を納税することになっています。

四月から5%から8%に税率が引き上げられようとしています。総収入が一千万程度でも、砕石などの仕入れがなければ、40万円以上の消費税を納

入る必要があります。これを確保するには、一千万円以上の総収入が必要で、消費税の納税義務も増加傾向にあります。

現在取引先から消費税をもらっていない(内税になっている)組合員も少なくありません。まさに死活問題です。

組合では統一要請書の活用など、組合員の活用実態に応じた対応を検討します。ご相談ください。



2月23日栃木市内で開かれた税金相談会の様子。高すぎる国保、国民年金が払えない組合員が増加しています。

労災保険新年度加入受付中

現在組合では新年度の労災保険加入を受付しています。労災事故が増加傾向にあります。高年齢化や過労など関係があると思われる事故も増えています。昨年発生事故の一部を紹介します。

【発生事故】

合材工場内でダンプの荷物を降ろすためシートをたたんでプロテクターを持ち上げるとき、腰を痛め一ヶ月以上歩けなくなる。
治療費と休業補償約二七万円給付。

【発生事故】

走行中タイヤ付近から異音が発生し点検のためダンプから降りて車体下にもぐるとき頭をぶつけて出血。
治療費と休業補償約十四万円給付。

【発生事故】

プラント内においてダンプのハシゴから降りるとき、手をすべらせてしまいサンダーが顔面にあたり負傷。
治療費のみ給付。

【発生事故】

運転席から降りるとき、ステップに左足をついたら指先が曲がって体重がかかり骨折。
治療費と休業補償約二七万円給付。

【発生事故】

路面の凹凸によって運転席が大きくバウンドし腰に激痛を感じたがそのまま仕事を継続。翌日朝起きられないほど腰が痛くなる。
治療費、休業補償給付。

事故の場合は直ちに組合事務所に連絡を。

4月から荷主責任強化へ 運輸業者の安全規則改正

国土交通省はトラック・ダンプなどの青ナンバーの運輸業者の安全対策を強化する目的で、四月一日から「貨物自動車運送事業輸送安全規則」を改正し次のような条文を追加実施します。

【適正な取引の確保】

第九条の四
「運転者の過労運転又は過積載等を防止するため荷主と密接に連絡し協力して適正な取引の確保に努めなければならない」

この改正によって国土交通省が、過積載の原因が荷主との「不適正な取引」に原因があると認められたこととなります。そのうえで荷主の協力(適正な取引)を求めています。

しかし現実には、「不適正に取引」を強要する荷主が少なくありません。

単価改正の春に

いま砕石業界では、軽油価格の高騰、ダンプ労働者の条件改善を「理由」に、単価引上げの動きが広がっています。しかし、売値が上がっても、ダンプ単価に転嫁しない業者が少なくありません。これでは「詐欺商法」と同じです。需給バランスに影響されない抜本的な改正が必要です。砕石業界は、今後安定した輸送力の確保を実現するには、ダンプ単価全体の引上げが避けられないことを自覚すべきです。

新しく組合に入る人が増えていきます。その多くが組合員からの紹介です。組合を知らない人がまだたくさんいます。引き続き「組合員紹介運動」にご協力よろしくお願ひします。